

やりきったこの1年 大きく成長した子供たち

校長 榎 千穂子

暖かい春の陽気に誘われ、ふきのとうが芽を出し、梅の花が一斉に咲き始めました。

1年前、満開の桜の木の下で、担任の先生と一緒に学級写真を撮っていた子供たちの姿が思い出されます。子供たちはクラスみんなと力を合わせ、一つ一つの山を乗り越えてきました。そして、今年、学年の山を一つ登りきろうとしています。

ひとつのこと 斎藤 喜博（さいとう きはく）

いま終わる	ひとつのこと	いま越える	ひとつの山
風渡る	草原（くさはら）	響き合う	心の歌
桑の海	光る雲	人は続き	道は続く
遠い道	はるかな道	あす登る	山も見定め
いま終わる	ひとつのこと	いま終わる	ひとつのこと



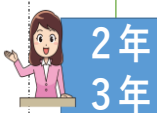
先日行われた「6年生を送る会」も子供たちにとっては大きな山だったと思います。1～5年生は、どうしたら6年生にこれまでの感謝の気持ちを伝えることができるか、笑顔になってもらうにはどうしたらよいかクラスで何度も話し合い、練習を重ねてきました。特に5年生は、企画や進行を自分たちで行い、下級生の指導もしながら見事にやり遂げました。6年生は「感謝と成長」をテーマに、「やっぱり金津の顔だな」と思える歌とダンスを披露してくれました。それぞれの学年が自分たちにできる最高の姿を見せてくれました。その姿から、みんなと力を合わせて一つの山を登りきった喜び、そして、目の前の更に高い山を登ろうとする決意が感じられ、子供たちの成長を頼もしく感じました。子供たちには、1年をふり返って自分の成長を確かめるとともに、新しい学年・中学校への進学に向けて、夢や希望を膨らませてほしいと願っています。

16日はいよいよ卒業証書授与式です。最高学年として、下級生のリーダーとして、お手本となる姿をたくさん見せてくれた12名の6年生に幸多からんことを願って、職員・在校生一同、思いを込めて式に臨みます。

保護者・地域の皆様には、今年度の教育活動へのご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。学校便りはこれで最終号となりますが、今後とも一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

～令和5年度より金津小学校に「複式学級」が編成されます～

児童数の減少により、来年度は、2年生と3年生で1学級になる複式学級を編成します。初めての複式学級ということで心配される方もいらっしゃると思いますが、人数が多いと学級内での活気も出てきます。来年度の授業については、以下のように3つのパターンで行う予定です。ご理解の程よろしくお願いいたします。



①学習内容が似ているため2年生と3年生一緒に授業を行います。

書写、音楽、図工、体育、道徳、学活



②学習内容が異なるため2年生と3年生に分かれ、一人ずつ先生が担当して授業を行います。
国語、生活、理科、社会、外国語活動、総合



③教室を半分に分け、一人の先生が両方の学年の授業を担当します。
算数

6年生を送る会

送る会に向けて、どの学年も協力し合い助け合いながら本番を迎えました。特に、5年生は、企画・運営・出し物と自分たちで考えて真剣に取り組んでいました。本番では、どの学年も練習したすべての力を出し切り、みんなで6年に感謝の気持ちを届けることができました。全校児童の心が一つとなる心温まるすてきな会となりました。



送る会 大成功！

5年生は、1～4年生をまとめ、全体の企画・運営を見事に成功させました。



5年生『6年生中学校物語』



「6年生全員が笑顔で楽しめる送る会にしよう」 ～感謝と史上最高の思い出を～



1年生『いろ いろ いろ』



2年生『浦島太郎 金津龍宮城にご招待』



3年生『みんなの運動会と感謝の手紙』



4年生『金津探偵』



6年生『やっぱり 6年生』



入賞 おめでとう！

清水育英会清水賞
西田幾多郎博士頌徳会書道展

善行賞 6年 寺西 琴乃
優秀賞 5年 山本 結子
入賞 5年 藤島 空奈

見守り隊の方々に支えられて・・・

見守り隊の皆様が、雨の日も風の日も、子ども達を見守って下さるおかげで、子どもたちは安心して登校できました。保護者の方々も大変感謝しています。本当にありがとうございました。

【見守り隊の方々から】

- ・毎朝、子どもたちから元気をもらっています。
- ・毎朝、あいさつを交わし、整然と登校する子どもたちの姿に元気づけられています。
- ・当番日、車はまだヘッドライトをつけ、吹雪いており、遠くから子どもたちの集団が見えた時、ほっとしつつ、「おはようございます」の素直な声を聞いてうれしく思います。これからも、子どもたちには元気で優しい、やっぱり金津小学校と言われる様に育てほしいと思っています。
- ・元気な子どもたちの声を聞くとこちらにも元気がもらえる。子どもたちの安全のため、成長を見守るため、元気の限り働きます。
- ・毎週毎週、子どもたちが整然と通学しています。さわやかです。
- ・子どもたちが規律正しく、且つ和やかに表情も明るく、下級生を気遣いつつ、登校していく様子に心癒されます。
- ・「おはようございます」「いってきます」と大きな声で言ってくれ、私たちは元気をもらっています。
- ・子どもたちは毎朝元気よくあいさつをして登校しています。こちらの方が元気をもらえます。